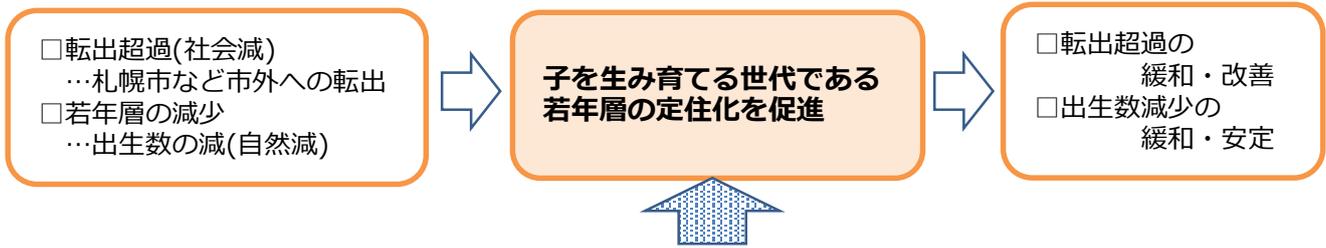
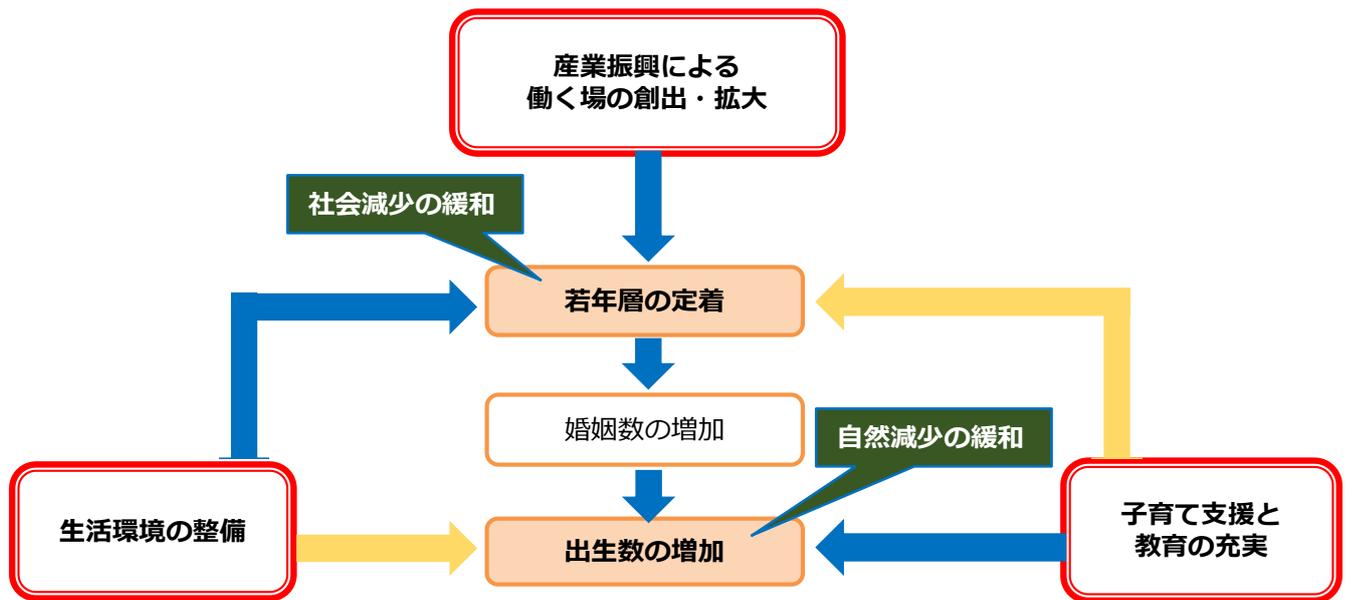


## 人口対策の検討に向けたポイント



…… 産業振興と子育てしやすい・暮らしやすい環境整備 ……



### 産業振興による働く場の創出・拡大

本市からの転出防止と市外からの就労者の転入を図るため、産業振興による働く場の創出・拡大が必要。特に、賃金をはじめとした雇用環境などの面で、若者にとって魅力ある雇用の場の創出が重要。

- 地場産業の振興
- 起業支援(創業支援)
- 企業立地の促進
- 交流人口の拡大
- 若者などへの地元就労支援

### 子育て支援と教育の充実

安心して産み育てるためには、子育て経費をはじめとした様々な負担感を軽減する必要があるとともに、若年層の転出を抑制し出生数を維持していくためには、子育てと仕事の両立などの子育て環境整備や、学力向上に向けた教育の充実が重要。

- 子育て経費等の軽減
- 保育等に係る支援
- 子育て環境の整備
- 教育の充実

### 生活環境の整備

転出者の多くが札幌市への転出であるとともに本市への通勤者数も高い数値にあることから、転出抑制と小樽市に住んで札幌市に通う状況の創出に向けて、特に子育て世代をはじめとした若い世代の定住化推進のため、札幌市への通勤の利便性確保のほか、住環境の整備や商業・サービス施設の充実が必要。

- 小樽市への居住促進
- 交通アクセス(JR、バス)の充実
- 定住自立圏構想の推進
- 北海道新幹線・新小樽(仮称)駅まちづくり計画の策定・推進
- 人口減に対応したまちづくり

### その他

- 結婚支援